

### ビーチバレー選手ら 川崎市長を表敬訪問



ビーチバレーで12年のロンドン五輪出場を目指す川崎市在住の朝日健太郎(33)、浦田聖子(28)両選手と、同競技で北京五輪に出場した楠原千秋選手(33)、瀬戸山正二・日本代表監督(44)が9日、川崎市役所を訪れ、阿部孝夫市長を表敬訪問した。3選手はサインボールを阿部市長に手渡し

た写真。

市は7月下旬、川崎区東扇島の川崎マリエンに国際規格のビーチバレーコート2面を約3千万円かけて整備する。北京五輪にも出場し9位だった朝日選手は中原区に住み、浦田選手は先月末、横浜市から川崎区へ移り住んだ。浦田選手は先月から楠原選手と再びペアを組みロンドン五輪を目指している。朝日、浦田両選手がコートの開場イベントやビーチバレーの普及活動に協力することになり、表敬した。

### ビーチバレー3選手 阿部市長を表敬訪問



ビーチバレーシーズンを前に、川崎市在住の朝日健太郎(33)(CHINTAI)、浦田聖子(28)(フリシ)の両選手らが9日、川崎市役所を訪問、阿部孝夫市長に活躍を誓った。

同市では、臨海部の常設コート建設計画が進んでおり、朝日選手は「練習に打ち込める時間が増える。川崎を代表してロンドン五輪に出たい」と語り、横浜市から転居してきた浦田選手も「川崎で力を養いたい」と話した。浦田選手とペアを組む楠原千秋選手(33)も同席、3選手はサイン入りボールを市長に贈った。

阿部孝夫市長(右)にサイン入りボールをプレゼントする浦田聖子選手(右から2人目)ら

# ビーチバレー普及で協力

朝日選手ら  
川崎市長訪問

阿部市長（右）にサイン入りのボールを贈る（左から）楠原選手と朝日選手、浦田選手 川崎市役所



川崎市在住でロンドン五輪を目指すビーチバレーの朝日健太郎選手(33)と浦田聖子選手(28)が九日、同市役所に阿部孝夫市長を訪ねた。川崎臨海部では七月にビーチバレーコートが新設されることもあり、競技の普及促進に向けて意見を交わした。

両選手のほか、浦田選手の新たなパートナーで北京五輪にも出場した楠原千秋選手(33)や、北京五輪ビーチバレー日本代表の瀬戸山正二監督も同席した。ビーチバレーコートが新設されるのは川崎区東扇島の川崎マリエン(市港灣振

興会館)。コート数は二面で、日本ビーチ文化振興協会推奨の砂を使用する。

朝日選手は「砂が良いコートがなかなか少ないので新しいコートが楽しみ。競技の底辺の広がりにもつながる。世界で戦う環境が整うことでやる気がわいてきた」と意欲を語った。

川崎市民になったばかりの浦田選手は「新しいパ

ートナー、新しい拠点で、新しいパワーを養っていきたい」と述べた。

三選手からサイン入りのボールを贈られた阿部市長は「川崎を拠点に五輪を目指してほしい。本年度中に市長杯の大会を開催して競技を盛り上げていきたい」と激励した。

(佐々木 航哉)